保育課程

一成保育園

保育理念	① 一人ひとりの人権を保障・尊重し、命を大切にする ② 子どもの最善の利益 ③ 子どもの福祉を積極的に増進
保育の基本方針	児童福祉法に基づき、保育に欠ける乳幼児の保育を行い、遊びを通じて健全な心身の発達を図る ①家庭や地域社会との連携の下、子どもの状況や発達を踏まえ、環境を通して養護及び教育を一体的に行い、豊かな人間性を持った子どもを育成する。 ②専門的知識、技術及び判断力をもって、入園する子供の保護者や地域の子育て家庭に対して、支援等社会的役割を果たす。 ③子どもが健康安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図る。
保育目標	元気に明るくのびのび遊ぶ子 ① 生きる力を持った子ども　② 元気な子ども　③ 基本的生活習慣の涵養 ④ 仲良く生活する力を育てる　⑤ 考える子ども

養護	教育	i おおむね6か月未満	ii おおむね6か月から1歳3か月未満	iii おおむね1歳3か月から2歳未満	iv おおむね2歳	v おおむね3歳	vi おおむね4歳	vii おおむね5歳	viii おおむね6歳	小学校との接続 学童保育等との接続
生命の安定 情緒の安定	健康－生活	●一人ひとりの身体発育や健康状態を把握しながら、生理的欲求を十分に満たし生命の保持と生活の安定、情緒の安定を図る ・体重や、身長が著しく成長する。 ・視覚、聴覚などの感覚の目覚ましい発達 ・愛情豊かな関わりの中で生理的欲求を満たし心地よく生活する。	・眠たいときは安心して眠る ・優しくこまめな衣服やおむつ交換により、きれいになった心地よさを味わう	・安心して午睡等をする(一定時間眠る) ・便器に座り排泄する ・衣服の着脱に興味を持ち、パンツやズボンを自分で脱ぐ	・排泄のための体の機能が整う。 ・身の回りの生活や安全の習慣が少しずつ身につくようになる ・上衣を自分で着脱する・危険なことが少しずつわかり、保育士に伝えられると止めることができる	●食事・排泄・睡眠の基本的習慣の獲得 ・登降園の準備や自分の持ち物の整理整頓ができるようになる ・お当番活動を喜んでする	●生活に必要な基本的生活習慣を身につける ・排泄やその後の始末等は、ほとんど自分でする ・お当番活動を喜んでする	・基本的生活習慣の自立 ・お当番活動を喜んでする	・健康・安全に必要な基本的生活習慣・態度を養う。 ・身近な人への感謝の気持ちを持つ	・規則正しい生活 ・新たな環境への適応
	食育	●食を営む力の基礎を培う ・個人差に応じて授乳を行う ・離乳の開始	・個人差に応じて離乳を進め、様々な食品に慣れさせながら幼児食への移行を図る。	●自分で食べる・友達と一緒に楽しんで食べる・挨拶をする ・様々な食材に触れ、食事を楽しむ ・好き嫌いの現れ、むら食い	・様々な食材を感じ、食材を味わう ・みんなで一緒に食べる喜びを感じる	・食事のリズムを整えながら食事の大切さを心得る ・みんなで一緒に食べる喜びを感じる ・簡単な野菜の栽培をし、育っていく様子を楽しみ、収穫の喜びを味わう。	●食事マナーの獲得 ・食材の種類、名称に興味を持つ ・食べることによりすべての命の大切さを知る ・野菜の簡単な栽培をし、育っていく様子を楽しみ、収穫の喜びを味わう。	・食事と栄養のバランスをとる ・命あるものを頂く感謝の気持ちを持つ ・野菜の簡単な栽培をし、育っていく様子を楽しみ、収穫の喜びを味わう。 ・友達とクッキングを楽しむ	・体と食物との関係に興味を持つ ・命あるものを頂く感謝の気持ちを持つ ・野菜の簡単な栽培をし、育っていく様子を楽しみ、収穫の喜びを味わう。 ・友達とクッキングを楽しむ	・給食の体験 ・時間内の給食
	健康－運動	●基本的な運動機能の発達 ・首の座り、寝返り、腹ばいなど全身の動きを楽しむようになる。 ・音や声のする方に顔をむける。	・座る、這う、立つ、つたい歩きといった運動機能が発達する。 ・手足を自由に動かすようになる	・歩き始め、自分の意思で体を動かせるようになる ・登る・降りる・跳ぶ・くぐる・押す・引っ張るなどの運動を取り入れた遊びや、いじる・たたく・つまむ・転がすなど手や指の遊びを楽しむ。	・組大運動・両足跳び・飛び降りなど体を思うように動かせるようになる。 ・指先が器用になり、衣服の着脱、紙をちぎったり貼ったりなどができる。	●基本的な運動力の獲得 ・体を動かし外遊びを十分楽しんだり、様々な遊具や用具を使った運動遊びを楽しむ。 ・基本的な運動機能の獲得	・全身のバランスが取れるようになり、体の動きが巧みになり、異なる2種類以上の行動を同時にとれるようになる ・危険なものや場所、遊具、用具の使い方に気を付けて遊ぶ	・運動機能がますます伸び、体全体を使った複雑な動きができるようになる ・仲間とともに活発に遊ぶ	・さまざまな遊具を使って活発にダイナミックな遊びが出来る ・手先が器用になる	・姿勢を保持する基礎体力
	人間関係	●子ども一人一人の状態に応じて、スキンシップを十分に取りながら甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る ・特定の大人と情緒的な絆が形成される ・あやすと笑う。	・特定の大人との情緒的な絆が深まる。 ・人見知り、後追いをするように なる。 ・あやしてもらうと喜ぶ	・身近な人への関心、自己主張、独占欲の芽生え	・自己主張が強くなり、自分でやりたがる。	●友達と遊ぶことを楽しむ ・並行遊び ・自我がはっきりしてくる ・友達とのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ	・仲間意識が強くなり、自己抑制・自己調整(コントロール)ができる反面トラブルが増える。 ・目的を持って行動するようになる	●自主性・自律性・自己信頼・自尊心 ・手段遊びの発展 ・手段遊びの発展 ・異年齢交流の深まり	・仲間意識が強まり集団で組織的・創造的遊びに発展 ・判断力の形成 ・低年齢児へのいたわり	・通学班・担任・同クラス・上級生との人間関係への配慮
	環境	●豊かな感覚を育む保育環境		●身近な環境を満喫する		●身近な生活環境を満喫する				
		●安心できる人的・物的環境のもとで、運動的な活動を促し、また、聞く・見るなどの感覚の働きが豊かになるようにする		●身の回りの様々なものを自由にいじって遊び、外界に対する好奇心や関心を持つ	●身の回りのものや、親しみのもてる動植物を見たり、聞いたり、触れたりして関心を広げる。					
			・身近な人や物に興味を示す。 ・玩具や身の回りの物で一人遊びを十分に楽しむようになる。	・好きな玩具や遊具、自然物に自分からかかわり遊ぶ	・保育士と一緒に水・砂・土・紙などの素材に触れて楽しむ。	・身近な動植物や自然現象に親しみ愛情を持つ ・異年齢児と交流を図り、年上の友達の模倣をして遊ぶことを楽しむ。 ・色・量・数・形への関心、違いへの気づき	・身近な動植物の世話をし、愛情を持つ ・行事への参加	・自然現象の大きさ、不思議さ、美しさへの気づき。 ・手伝いの積極的参加	・社会体験、地域・行事への参画 ・自然事象に対して興味を持ち探究心を養う	
	言葉	●優しく語りかけたり、発声や喃語に応答したりして、発語の意欲を育てる。		●保育士の話しかけや、発語が促されたりすることにより、言葉を使うことを楽しむ。		●豊かな生活から生まれる、豊かな言葉				
		・「アーウー」「ブーブー」などの喃語を発するようになる。	・簡単な言葉がわかるようになる ・保育士と一緒にきれいな色彩のものや身近なものの絵本を見る。	・片言や指差しを使い、二語文を話し始める。 ・大人の言うことがわかるようになる。 ・意志を伝えようとする意欲が高まる	・自分の意志や欲求を言葉で表そうとする。 ・言葉の数(語彙)が急激に増える。 ・イメージを膨らませることにより、象徴機能がより発達する。(まねっこ遊び)	・生活に必要な言葉がある程度わかり、したいこと・して欲しいことを言葉で話す。 ・挨拶や返事などの言葉を自分から使うようになる。 ・「なぜ？」「どうして？」という質問が多くなる。	・友達とイメージを共有しながら、ごっこ遊びを楽しむ。 ・行動や体験を話したり人の話を注意して聞く。 ・絵本、童話によるイメージの広がり。	・自分の言葉で考えを伝える力が身につく。 ・言葉による共通のイメージを持つ。 ・批判したり、判断したりする力が付く。	・文字、数字、記号に興味を持ち、読んだり書いたりする。 ・言葉の美しさ、面白さに気が付く。 ・人の言葉や話などをよく聞き、自分の考えや経験を話し伝える	
	表現	●生理的な快・不快の表出をする					●豊かな感性による表現や、創造性を豊かにする			
		・泣く・笑うなど表情や体の動きで、自分の欲求を表出するようになる	・自分の欲求を身振りや指差しで伝える。 ・音楽を楽しんで聴いたり歌やリズムに合わせて手足や体を動かす。 ・模倣、一人遊びを楽しむ	・見立て遊び、つもり遊びが始まる。 ・身近な音楽に親しみ、それに合わせた体の動きを楽しむ。 ・絵本や紙芝居を楽しんで見たり聞いたりし、繰り返しのある言葉の模倣を楽しむ	・大人と簡単なごっこ遊びを楽しむようになる。 ・保育士と一緒に歌ったり、簡単な手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりして遊ぶ	・ごっこ遊びをより一層楽しむようになる ・生活の中で様々なものを見たり触れたりして、美しさへの気づき ・絵本、童話などの面白さの気づき	・生活の中での様々な音・色・形・手触り・動き・味・香りなどに気づいたり、感じたりして楽しむ ・さまざまな素材や用具、表現方法に関心を持つ ・想像力が豊かになり、作ったり書いたりする	・感じたこと、思ったこと、想像したことなど工夫し、目標をもって様々な方法で表現する ・絵本や童話、視聴覚教材などを見たり、聞いたりして、様々なイメージを広げる	・知覚・思考・創造など知的能力が発達し、友達と共感したり、表現する喜びや楽しさを味わう。 ・自分で考え、演じる共同体験 ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	・小学5年生・1年生との交流
	家庭との連携・協働	○個々のケースに応じて対応する ○連絡ノートにて家庭と連携を図りながら、子育てを一緒に応援し保育士との信頼関係を築く ○園便り、クラス便り ○個人懇談、クラス懇談								
			○生活リズムを整える大切さを知る(早寝早起き・朝ごはん)							
								・のびのび福知っこの実施	・スクリーニングの実施	
	保健	○玩具等保健衛生管理 ○内科健診、ぎょう虫検査 ○除菌水成装置の使用								
		・1カ月・4か月健診 ・ポリオ・BCG・三種混合の1期 ・SIDSの予防 ―→ ・オゾンによる除菌脱臭 ―→ ・ホットタオル使用 ―	・10か月健診	・1歳半健診 ・手洗いの励行 ―→	・2歳3か月健診 ―→	・3歳半健診 ・歯科検診 ―→ ・うがい・手洗いの励行 ―→ ・ペーパータオル使用 ―			―→	
	地域活動	○地域の子育て支援 ○育児相談 ○園庭解放 ○全園児、福知山市盆踊りに参加 ○実習生、中学生職場体験、ボランティアの受け入れ ○夕涼み会へ地域の方を招待 ○地域の祭りへ参加								
									・老人施設の慰問と触れ合い ・地域の敬老会参加	